

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【公表番号】特表2005-517444(P2005-517444A)

【公表日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2005-023

【出願番号】特願2003-569835(P2003-569835)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

B 01 J 3/00 (2006.01)

C 12 P 19/34 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 A

B 01 J 3/00 A

B 01 J 3/00 J

C 12 P 19/34 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月28日(2005.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

i) 通常の圧力下で微生物を溶解して、綿状沈殿が溶解物中に形成され、

ii) 溶解物を取り巻く雰囲気の圧力を通常の圧力と比較して低下または上昇させることによって、溶解物中の綿状沈殿を相分離し、高度に圧縮された沈殿相および液相が溶解物中に形成され、

iii) 上記2つの相を分離する

ことを特徴とする、微生物由来の細胞溶解物を粗清澄化する方法。

【請求項2】

微生物がグラム陽性またはグラム陰性細菌である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

溶解物を取り巻く雰囲気の圧力が通常の圧力より200から1000mba低い水準に調節される、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

溶解物を取り巻く雰囲気の圧力が通常の圧力より300から800mba低い水準に調節される、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

溶解物を取り巻く雰囲気の圧力が通常の圧力より200から500mba高い水準に調節される、請求項1または2に記載の方法。

【請求項6】

溶解物を取り巻く雰囲気の圧力が通常の圧力より500から2500mba高い水準に調節される、請求項5に記載の方法。